

みんなでなくそう痴漢被害！ 護身術教室 in いちあま

防犯ボランティア活動報告



私たち3名は11月13日（水）、北館2階のダンス室で、警察官の方による護身術教室を開きました。70名弱の女子生徒が参加してくれました。

私たちは「令和6年度あまらぶチャレンジ事業ジュニアコース」に参加し、女性の防犯対策に取り組んでいます。痴漢被害に遭った経験があり、性犯罪に腹立たしく悔しい思いを持っていたため、被害を減らす活動について取り組もうということになりました。その対策の1つとして、尼崎北警察署生活安全課の方々に護身術教室の開催をお願いしたところ、

快く引き受けてくださいました。

まず、尼崎北警察署の生活安全課の警察官の方から、

- ・痴漢被害はいつ起きるか分からないという意識を持ち、常に気を付けておくことが大切！
- ・護身術は相手と戦うためではなく、自分を守って急いで逃げるために最終手段として使うもの

という心得をお話していただきました。

そして、兵庫県警察本部警務部で、警察官への術科指導を担当されているお二人の警察官を含む四人の警察官の方々から実際に技を教わりました。



①相手に両腕をつかまれた時に、ごめんなさいのポーズから相手を振り払う方法



②相手に片腕をつかまれた時に、私かわいい！と手鏡を見るポーズから相手の腕を払う方法



③おしりを触られた時に、指をつかんで相手を後退させる方法

この3つを習いました。

参加した女子生徒は、みんな楽しみながら技を覚えられた様子で、

「今まで護身術は複雑そうなイメージがあったけど初めて習って意外と簡単だなと思いました。実際にやってみるとすぐにできて効果が感じられました。」

「今回護身術というものに触れて護身術の重要性を改めて知ることができました。そして何より自分より圧倒的に力の強い相手に、ただ力で勝とうとするのは無理がありますが、こういった技術を少しの知恵として覚えておくだけで、いざとなったときの行動に違いが出るのではないかと思います。」

に、ただ力で勝とうとするのは無理がありますが、こういった技術を少しの知恵として覚えておくだけで、いざとなったときの行動に違いが出るのではないかと思います。」

「すぐくためになりました。私の入っている部活が女子ばかりなので何かあった時に役に立つと思いました。」

などの感想をいただきました。私たち自身もとてもためになったので、護身術教室の開催にご協力してくださった方々に心より感謝申し上げます。今後も尼崎市がより安全な街になるよう、精一杯活動をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

